



次世代経営者のための

月刊

# ビジネスサミット

中小企業を元気にする

2019  
September

9

「特集」  
老舗企業に学ぶ  
「長寿」の秘訣

「特集」



注目の次世代経営者インタビュー  
「自分たちの製品」を求め  
高機能システムを創り出す

山本博士氏

株式会社スマレジ  
代表取締役

「次世代経営者がゆく！」

従業員と共に「強み」を伸ばし  
自社のファンづくりを推進する  
株式会社足立興商 専務取締役

足立琢哉氏



【現役経営者が書いた本に学ぶ】

# 社員との関係性次第で、会社の業績は上がる！



社員を「大切にすることから黒字になる。「甘い」から赤字になる」

近藤宣之／あさ出版  
1500円＋税／2018年9月

## 【著者プロフィール】

### 近藤宣之（こんどう・のぶゆき）

株式会社日本レーザー代表取締役会長。慶應義塾大学工学部卒、日本電子入社。取締役米国法人支配人などを経て赤字会社や事業を次々再建。その手腕が評価され、債務超過に陥った子会社の日本レーザー社長に抜擢。就任1年目から黒字化、以降25年連続黒字、10年以上離職率ほぼゼロに導く。

2007年、ファンドを入れずに（社員からの出資と銀行からの長期借入金のみ）、派遣社員・パート社員を除く現在の役員・正社員・嘱託社員が株主となる日本初の「MEBO」で親会社から独立。2018年3月から現職。

第1回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞の「中小企業庁長官賞」、第3回「ホワイト企業大賞」など受賞多数。

「社員を大切にすることだけで本当に経営はうまくいくのですか？」。実はこれが本書のメインテーマである。このところ、というよりだいたい前から、「社員を大切にすること」という言葉をよく耳にするようになった。聞こえは確かにいい。

しかし、それで本当に会社の業績はよくなるのか？ そもそも社員を大切にすることはどういうことなのか。意外とこのことにしっかり答えている本は少ない。いや、ない。

著者はこう答える。

「はい、うまくいきます。日本レーザーは社員の都合にあわせて仕事をつくるから」

日本レーザーはレーザー専門輸入商社。2007年にファンドを入れずに派遣社員・パート社員を除く現在の

役員・正社員・嘱託社員が株主となる日本初の「MEBO」で親会社から独立したことで知られる会社である。

2人の息子の死、自身のガンなど壮絶な「7度の崖っぷち」のキャリアをもつ著者であるが、労働運動委員長を経験するなど、実は人事のプロ中のプロ。本書は「社員を大切にすること」会社づくりの秘密を大公開している。「5つのしくみ、6つのしかけ」とこの本では呼んでいる。

この6つのしかけをご紹介しますと「CREDO 働き方の契約書」「就業規則・賃金規定・退職金規定」「総合評価表」「嘱託契約社員関連資料」「契約書・総合評価表」「給与通知書」「今週の気づき・今週の頑張り」。本書では40ページにわたって、この具体

的な資料が巻末資料として掲載されている。

著者の印象的な言葉をご紹介しよう。「会社と社員は対等である。だから、会社が社員に対して約束するように、社員も会社に対して約束をする。だから、社員がいざというときに社長と一緒に火の玉となって、火事場の馬鹿力」をだしてくれるのだ。

最後にまったく個人的な意見を一つ。同社で働く方々は本当に生き生きとしている。だからなのか、全員、実年齢より5歳（以上）は若く見える。これを本書タイトルに提案したのだがメンバーから一蹴された。いまでもなかなか良いタイトル案だったので、と内心思っている。

株式会社あさ出版 書籍編集部